

自ら学び続ける教職員研修支援事業 活動報告書

学校名 岐阜市立草潤中学校

テーマ 続・学びの多様化学校のあり方

取組のポイント・成果

【自己分析シート・マナビプランについて】

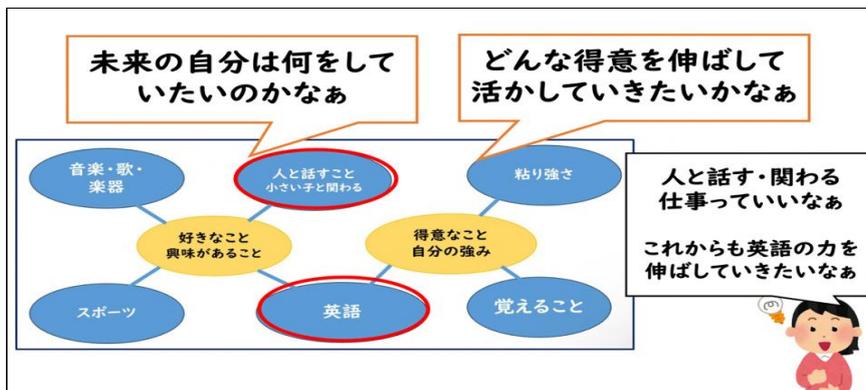
令和7年度は、昨年度の取組を土台としながら、生徒が自分のよさや可能性に気づき、さまざまな選択肢の中から自己決定をして活動し、自己実現を目指す生徒を育てたいと考え、さらには、そのよさを発揮できる生徒になってほしい、そのために、まず生徒が自分自身を知る必要があると考えた。今年度は、自己分析シートを取り入れ、職員と生徒が対話を通して記入することで、自己理解から自己調整へ、自己選択から自己実現へとつないでいきたいと考えた。

ただ、自分の気持ちを表現するのが苦手な生徒にとっては困難な内容でもある。マナビプランは、生徒に自己分析を促す支援のツールとして、自己理解と目標作りという本校の生徒には欠かすことのできない学びを推し進めるものである。伴走する（本校では、伴奏型支援、協奏型支援と位置付け）職員が、生徒一人一人の状況をきめ細かく把握し、どのようにアプローチするとよいか職員の共通理解を図ること、生徒自身が取組を通して伸びを実感できているかを確認することのできる実践にするために次のような取組を行ってきた。

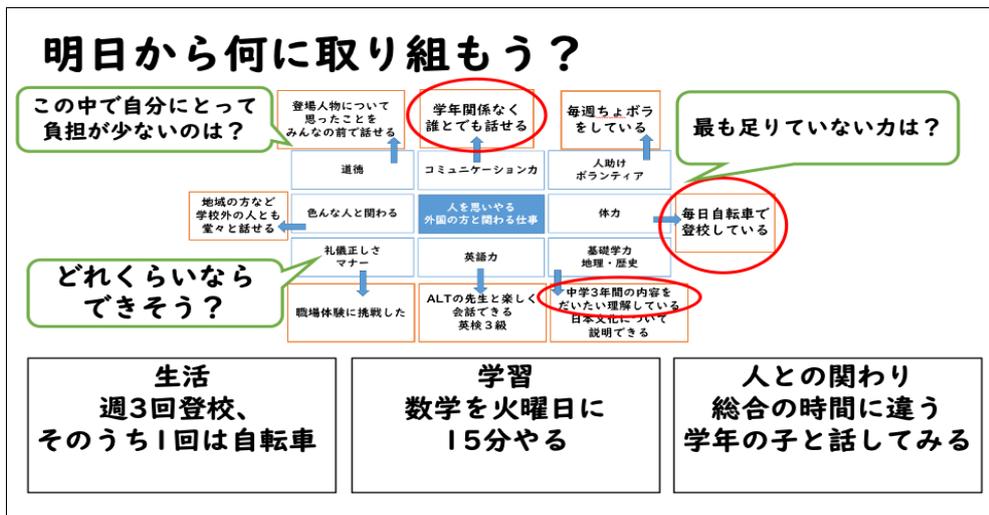
マナビプランの効果的な活用のために職員会提案から共通理解を図って指導にあたり、より一人一人に意味のあるものにするために、朝や放課後の研修に位置付け、随時マナビプランの活用について職員で検討、実践してきた。

- | | | | |
|-----|-----------------|-----------------|---------|
| 4月 | マナビプランについて | オリエンテーション | 資料1 |
| 5月 | マナビプラン | 前期目標作り 毎日の記入シート | 資料2 資料3 |
| 6月 | 個に合わせたマナビプランの作成 | | |
| 9月 | 前期マナビプランの振り返り | | 資料4 |
| 11月 | 毎日のマナビプランの見直し | | |
| 1月 | 「できたねリスト」の作成 | | 資料5 |

資料1



資料2



資料3

【WU】

① 「今週の目標」

前週の反省（今週の振り返り・来週に向けて）をもとに、週初めのWUにて個別担任と目標を決めて記載する。

② 「授業、マイタイム・マイスタディの参加、不参加」

一日をどのように過ごすか、見通しがもてるようにする。授業に参加しない場合、どこで何をするかを明確にし、過ごし方に困ることがないようにする。必要に応じた支援が得られるように、他の教員との連携も図りたい。

今週のmanaプラン【月 日(月)～ 月 日(金)】 名前

<今週の目標>					
	月	火	水	木	金
登校前	起床【 時】 朝ごはん【○・×】				
体の調子	😊😊😊😊😊😊	😊😊😊😊😊😊	😊😊😊😊😊😊	😊😊😊😊😊😊	😊😊😊😊😊😊
心の調子	😊😊😊😊😊😊	😊😊😊😊😊😊	😊😊😊😊😊😊	😊😊😊😊😊😊	😊😊😊😊😊😊
	<input type="checkbox"/> 参加 【どこで何をする?】				
	できたチェック <input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/> 参加 【どこで何をする?】				
	できたチェック <input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/> 参加 【どこで何をする?】				

遅刻してきた生徒は学年で連携してmanaプランを記入する。
(スタッフルームに顔を出したタイミングなど)

【CD】

③ 「できたチェック」

朝の計画と実際の1日の過ごし方を照らし合わせて振り返る。計画通りに過ごすことを目指すのではなく、意図をもって生活できたのか、予定を変更したのか理由が分析できているのかな等を大切にしていきたい。

計画と異なる過ごし方をした場合は、何をしたのかをメモする。

④ 「一日を終えて」

「今日のほめポイント」

一日の自分を振り返り、頑張れたこと、良かったこと、うれしかったことなど、明日への自分の前向きなメッセージとなるような内容を記入する。

⑤ 「今週の振り返り・来週に向けて」

一週間を振り返り、自分自身が頑張れたこと、できなかったことなどを振り返る。事実だけでなく、なぜその行動に至ったのかという「内面」を振り返らせ、言葉として書き残したい。どんな気持ちで次週に向かうと自らの成長に繋がるかを考えられるようにしたい。

	できたチェック <input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/> 参加 【どこで何をする?】				
	できたチェック <input type="checkbox"/>				
マイタイム マイスタディ	<input type="checkbox"/> 残る <input type="checkbox"/> 帰る 【どこで何をする?】				
一日を終えて	😊😊😊😊😊😊	😊😊😊😊😊😊	😊😊😊😊😊😊	😊😊😊😊😊😊	😊😊😊😊😊😊
今日の自分 ほめポイント					

月	火	水	木	金
1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15

<今週の振り返り・来週に向けて>

資料4

前期 マナヒプラン作成のための『自己分析シート』

◆4月の自分◆ わたしを一言でいうと

現在の心の状態(○で囲もう)

わたしにとって大事な物、大事にしている事など

わたしの好きなこと、関心があること、燃えること、わくわくすること、がんばっていること、ときめくこと、得意なこと など

いいと思う自分(わたしの強み)

嫌だと思う自分(わたしの弱み)

気持ち晴れるとき(気分が上がるとき)

▲気持ちはずむとき(気分が下がるとき)

★気持ちはずんだ(気分が下がった)ときのわたしの対処法★

マナヒプラン
～自分の願い、目標を明確にしよう！～

憧れる未来の自分

草潤中学校を卒業するときの自分

できるようにになりたいこと

【生活】

【学習】

【人との関わり】

◆前期マナヒプランふり通り◆(9月末)

【生活】

◎よかったこと、楽しかったこと、うれしかったこと、がんばったこと、うまくいったこと、できるようになったこと など

▲苦しかったこと、つらかったこと、うまくいかなかったこと など

【学習】

「できるようになった!」「がんばった!」「わかった!」こと

できた・がんばった・わかった

工夫・方法

「やりきれなかった」「困っている」「心配している」こと

なんで?どうして?

後期は!

【人との関わり】

◎よかったこと、楽しかったこと、うれしかったこと、がんばったこと、うまくいったこと、できるようになったこと など

▲後期に向けて不安に思っていること

資料5

できたねリスト

【生活】

ほとんど毎日登校
ものづくり 編み物
草潤クッキー イラスト

【学習】

- 英語でこれまで学習したことをうまく使って上手に自分の思いを表現できた
- 職場体験へのチャレンジ
- 英語の宿題
- 数学 自分でワーク 分数、小数の計算練習
- 美術 手早く綺麗にできる

【人との関わり】

自分から声をかける
いろいろ提案する
仲間とに關係に悩みながらも前へ。

【心和中学校の視察 4校合同夏季研修会(洛風中学校にて)】について

他自治体の学校と交流し、学びの多様化学校のあり方を探った。

○8月21日(木)

午前 大阪市立心和中学校の視察

- ・施設面 豊富な資金を投資 学校の隅々まで新しい設備 リラックスできる個室 仮眠もできる部屋 保護者が使える部屋 多目的トイレ 多機能な椅子 自動販売機、IKEA 協力の部屋
- ・類似点 草潤中学校を参考にした物 イマここボード、色合い
- ・相違点 ルール面が掲示してある(スマホ、捕食) 生徒による先生紹介掲示物 スクールカウンセラーの常駐

午後 京都市立洛風中学校にて4校合同研修

(京都市立洛風中学校 京都市立洛友中学校 大阪市立心和中学校 草潤中学校)

分科会① 分掌・教科別(管理職・事務・養護教諭・5教科・実技教科)

評価についてどの学校も苦慮している 市町によって評価の考えの差異

学ぶ意欲があまりない生徒への働きかけ、個別最適化の学びの工夫
職員の同僚性の大切さ 生徒の成長に寄り添う姿勢
分科会② テーマごと（配慮が必要な生徒・仲間作り・進路・外国籍の生徒）
生徒同士をつなぐための努力や工夫 生徒のやりたい思いを吸い上げ企画運営につなぐ
進路を決定していく段階での保護者と本人の思い
本人が自分で決めることや保護者との連携の大切さ

【4校合同冬季研修会（オンライン）】について

事前に全体会・分科会のオンライン接続を本校職員で行った。当日は、合計73名のオンライン研修となった。ホスト校として運営を行い、分科会のファシリテーターを務めた。

○12月25日(木) 13:30～15:30

分科会① 分掌・教科別（管理職・事務・養護教諭・5教科・実技教科）

本人の状況の見極めや対応 1時間完結の製作課題 能力差を感じにくい教材の工夫
教科横断的な内容の実施 興味を持てる言語活動 題材の工夫、

分科会② テーマ別（配慮が必要な生徒・仲間作り・進路・教育相談）

行事の成功体験 緩やかな仲間作り 校外学習や修学旅行 サークル活動
生徒情報の共有、生徒理解の深め方 保護者との関わり 医療への繋げ方

今後の課題

- ・昨年に引き続き、「学びの多様化学校のあり方について」研修を行なってきた。マナビプランについては、「生徒一人一人の様子の把握」、「生徒の自己理解の必要性」などを考え、改良を続けながら、現在のマナビプランの形を作り出してきた。安心チームがリーダーシップをとり、実際に生徒の様子や職員からの意見を取り入れて実践してきている。今後もこの形に改良を加えながらより良いマナビプランを作り出していきたい。
 - ・昨年に引き続き、京都の洛風中学校、洛友中学校との交流を行なった。今年度は、開校2年目の大阪市立心和中学校の施設見学をしたことで、草潤中学校の良さを取り入れているところを実際に見ることができ、開校当時に悩んでいた内容についてまさに同じ内容で悩んでいることを知ることができた。また冬季にも2回目の研修を行なったことで、継続した話題を取り上げることができた。またオンラインで交流する形を行うことができた。今後も継続してできることが分かったことが成果としてあげられる。
- 「同じ学びの多様化学校」としてもコンセプトや市町によって違うことが分かり、コンセプトの大切さやより草潤中学校の良さを実感することができた。今後も学びの多様化学校同士の連携を図っていきたい。